

第5節 魅力的な都市環境の創造

環境指標の達成状況

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況					最終目標値
				2022年	2024年	2025年	2026年	2027年	
住宅・住環境に関する施策の満足度	%	増加	44.8	68	68.5	69	69.5	70	70.0
				43.8					
				×					
市民1人当たりの公園面積（オープンスペースの確保）	m ² ／人	増加	4.25	4.39	4.45	4.52	4.57	4.61	4.61
				4.30					
				×					

【現状及び課題】

◆「住宅・住環境に関する施策の満足度」「市民1人当たりの公園面積」の目標未達成

「住宅・住環境に関する施策の満足度」については、住まいに関する相談体制等の整備や情報提供に努めましたが、目標未達成となりました。引き続き、多様化する住宅需要や新たな社会ニーズに柔軟に対応した住宅施策の構築を検討し、目標の達成を目指します。

また、「市民1人当たりの公園面積」については、所沢カルチャーパークに関し、用地取得の進捗が図れなかったことから目標未達成となりました。今後も、機会を捉えて交渉していきます。

主な施策の実施状況

5-1 美しいまちづくりの推進

5-1-1 景観の保全と形成

○景観まちづくり推進事業

本市の良好な景観の形成や、景観まちづくりの推進のための施策として、景観法、所沢市ひと・まち・みどりの景観条例及び同計画に基づき、届出審査による街並みやみどりと調和した色彩の指導を行いました。また、身近な景観資源の活用や市民の主体的な景観まちづくり活動への支援を行いました。

○保存樹木等指定促進事業

市街地やその周辺のみどりの永続的な保全を進めるため、保存樹木等に対する保険の加入や維持管理費用の助成による支援を行います。また、保存樹木及びふるさとの樹の指定制度について市民に周知し、新たに保存樹木とふるさとの樹を指定するとともに、市民の保存樹木等に対する認識を深め、今後の保全管理に対する関心も高めます。

[2024年度実績] イチョウ1本新規指定

5-1-2 清潔なまちづくりの推進

○あき地の雑草除去指導事業

あき地台帳による一斉指導として、近隣住民から恒常的に雑草除去の相談がよせられているあき地90箇所について、春から秋にかけて年5回定期的に見回りを行った結果、指導したあき地41箇所のうち28箇所が改善され、改善率は68%となりました。

第5節 魅力的な都市環境の創造

また、市民から寄せられた雑草に関する苦情相談延べ 99 箇所のうち 88 箇所が改善され、改善率は 89%となりました。

○歩きたばこ等の防止啓発事業

新所沢駅、航空公園駅、狭山ヶ丘駅、東所沢駅において、路上喫煙禁止区域喫煙者調査を実施しました。

また、路上喫煙禁止地区域内において、駅利用者や通行者に対して歩きたばこやポイ捨ての防止を呼びかけ、喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図りました。不定期に指定喫煙所周辺において、違反者に対し注意喚起を行いました。

[2024 年度実績] 巡回件数 12 回（月 1 回×12 ヶ月） 指導件数 11 件

○道路施設等維持管理事業

良好な景観を形成するため、屋外広告物の除去を行っています。

[2024 年度実績] 委託による除去：2,482 枚

5-1-3 歴史・文化的環境の保全と活用

○歴史的建造物整備活用事業

寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備及び活用を図っています。市民が交流する空間の創出や、所沢駅周辺から西所沢エリア及び航空公園エリアなどへの回遊拠点のひとつとして、地域の商業や観光の活性化に寄与することを目指し、整備のために必要な関係法令の条件整理を行いました。



■国登録有形文化財「秋田家住宅」

○郷土の民俗芸能支援事業

市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ護り伝えるため、重松流祭囃子保存会の埼玉県和文化フェスタ出演を支援するとともに、無形民俗文化財の紹介や継承団体への支援を行いました。

○文化財保護意識の啓発

「文化財保護年報」や「ところざわ文化遺産」の発行、並びに国指定重要文化財「小野家住宅」の案内標識の更新等を実施したほか、生涯学習推進センターにおいて「第 5 回所沢市文化財展」を開催し、市指定文化財を公開するなど文化財に関する普及啓発に努めました。

5-2 安全・安心なまちづくりの推進

5-2-1 オープンスペースの確保

○日東地区まちづくり事業（市街地におけるイベント用オープンスペースの確保）

東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区では、組合施行による市街地再開発事業が行われ、2019 年 1 月から着手していた施設の建築工事が 2022 年 1 月に完了しました。また、2022 年度に市街地再開発事業における都市計画道路中央通り線及び都市計画道路所沢浦和線の拡幅整備が終了し、ファルマン通り交差点改良事業及び無電柱化事業の一部を実施したことにより、イベント等に活用できる歩道空間（オープンスペース）が生み出され、一部芝生化や植樹を行いました。2023 年度に、歩道空間の全面整備を行いました。2024

年度より、イベント用スペースとして活用しています。

○子ども広場設置・整備費補助金の交付

地域児童の健全な育成を図るため、自治会等が子ども広場を設置又は整備した場合、自治会等からの申請により、補助金交付要綱に基づき補助金を交付しています。

[2024 年度実績] 補助件数：3 件 / 補助金額合計：491,000 円

5-2-2 交通環境の整備

○道路安全施設整備事業

交通事故発生の危険箇所、道路反射鏡や道路区画線などを設置し適切に管理を行い、通行の安全を確保しています。

[2024 年度実績]

道路反射鏡の設置	34 基
道路区画線等の路面標示	28,780,9m
その他の交通安全施設の設置	巻き看板・UV 注意喚起板：75 枚 / ポストコーン：50 本

○交通安全教育推進事業

交通事故を未然に防ぎ、減少させるため、児童・生徒及び高齢者に対して交通安全教室等の実施及び小学校通学路の危険箇所等に交通指導員を配置し、立哨指導を行っています。

[2024 年度実績] 交通安全教室の実施回数：133 回（参加者数：22,071 名）

○交通安全運動推進事業

市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故死傷者数を減少させるため、所沢市交通安全推進協議会加盟団体と協力して、街頭やスーパー等の協力も得ながら交通安全啓発活動等を実施しています。

[2024 年度実績] 街頭啓発活動の実施回数：31 回

○放置自転車対策事業

放置自転車禁止区域での立哨指導や放置自転車の撤去により、駅周辺の良好な生活環境を保持しています。また、駅周辺に放置自転車指導員を配置し、放置自転車防止の指導及び自転車駐車場への誘導を行っています。さらに、自転車保管場所に移動した自転車の所有者を埼玉県警及び警視庁に照会し、所有者に引き取るようはがきを送付しています。

[2024 年度実績] 撤去日数：75 日 / 撤去台数：618 台 / 返還台数：236 台

○北野下富線道路築造事業

歩道部をセミフラットにすることで、歩行者の他に車いすやベビーカーが通行しやすくなり、徒歩や自転車等の移動時の負荷解消につながりました。

第5節 魅力的な都市環境の創造

○自転車レーン整備事業

歩行者と自転車の接触事故の軽減を目的として、歩行者と自転車を分離することにより、安全性を確保しています。

[2024 年度実績] 自転車レーン設置工事：両側延長 1,281m

5-2-3 人と環境に配慮した都市空間の整備

○魅力ある街なか空間創出推進事業

官民が連携しパブリックスペースを活用しながら魅力ある街なか空間を創出するとともに、エリア価値の向上や地域の活性化を図るため、地域主体のエリアマネジメント組織を設立し、その組織が自立・自走できるよう支援しています。

2024 年度は公共空間の利活用に向け、庁内連携勉強会や多様な街づくりの担い手となるプレイヤー、地元の方々、商店街等を交え、官民連携による地域主体のエリアプラットフォームの設立に向けた勉強会等を実施しました。

○歩きたくなる街路樹づくり事業

街路樹の更新を図り、安心して歩けるような歩道空間を整備しています。

[2024 年度実績] 市道 5-1016 号線 歩道整備延長 130.6m

○トコトコ健幸マイレージ事業

18 歳以上の市民を対象に、スマートフォンアプリを用いて歩数を記録しながら日常的にウォーキングを行い、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりの取組みを継続的に支援しています。

広報ところざわやところざわほっとメール、SNS 等を活用した情報発信を行うとともに、従来からの保健師等の地区活動や乳幼児健康診査、健康増進に関するイベント、庁内各課が発出するチラシや通知等を通じて周知に取組んだ結果、2024 年度末の事業への登録者数は 9,325 人になりました。

5-2-4 災害対策の充実

○防災ガイド・避難所マップによる災害対応の周知

地震・風水害時の避難方法や各家庭でできる浸水防止策、備蓄等について、「防災ガイド・避難所マップ」をホームページやアプリ（アプリの詳細はホームページでご確認ください）に掲載するとともに、二次元コード付きチラシの市内転入者への配布や各まちづくりセンターでの配架などを実施することで市民への啓発を行っています。



■防災ガイド・避難所マップ

（二次元コードを読み込むとアプリでご覧いただけます）

第5節 魅力的な都市環境の創造

○上下水道局庁舎防災機能強化事業

災害等により停電が発生した場合でも、上下水道局庁舎において業務が継続できるよう2020年度に局庁舎に太陽光パネル（23.7kW）及び蓄電池を設置しました。防災機能の強化を図りながら温室効果ガスの排出量も削減しています。

[2024年度発電量実績] 約 25MWh



■太陽光パネル（上下水道局庁舎屋上）

○公園の整備事業

指定緊急避難場所である6公園に設置した太陽光発電式公園灯等について、定期点検を行いました。

○道路施設等維持管理事業

道路の保全と交通の安全確保のため、路面等の損傷箇所の修繕や舗装の打換などを計画的に行い、また、道路施設（ガードレール等）の適切な維持管理を行うことにより、道路環境の充実を図ります。

○日東地区まちづくり事業

東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区については、道路等の都市基盤が脆弱なため、緊急車両の進入が難しいなどの防災面での課題があり、また、所沢駅近接の商業地域にふさわしい土地利用が図られていない状況にあります。そのため、地区内の骨格となる道路を整備することにより、消防活動困難区域を解消し防災性の向上を図るとともに、沿道における民間主導の新たな土地利用や街の賑わい、思わず歩きたくなる空間の創出につなげることを目的とし、権利者との交渉や関係機関との協議等を行っています。